

秋播き小麦刈取り作業（中越勇外さん圃場、中小屋、7月24日）

■発行日/平成27年8月1日/No.1360号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

小麦集出荷調製施設操業開始

本年産麦の受け入れ開始は、前年と同じ7月23日から始まりました。

刈取作業は管内の早いところで7月18日頃から始まり順調に進んでいます。

小麦集出荷調製施設の出荷一番乗りは豊葦の城山幸明さんで「きたほなみ」2131kgを搬入し、記念として森川組合長からお祝いの品が手渡されました。

小麦集出荷調製施設の臨時電話
(臨)TEL0126-67-2770
(臨)FAX0126-67-2771



初出荷の記念品を受け取る城山さん

J A 全国監査機構の監査受ける

7月6日から10日までの5日間、J A全国監査機構の一般監査が実施されました。

J A全国監査機構の監査は全JAに対しても毎年実施されているもので、当JAでは前年7月に受けています。監査機構の3人の監査士により決算日（平成27年1月31日）を基準日として業務全般の決算結果の検証の他、業務処理統制の状況等について監査が行われました。

最終日には常勤理事、監事、幹部職員に対し監査結果の概要報告が行われ、指摘や要改善事項は後日文書で通知を受け、それに対する回答は理事会で審議の上、監査機構に回答することとなります。

第6回（7月定例）理事会の開催について

7月28日開催の第6回理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項 ◇

1. 第1四半期監事監査指摘事項

翁のことばに、わが教は徳をもつて徳に報いる道だ。天地の徳から、君の徳、親の徳、祖先の徳など、人々はみんな広大な恩徳をこなむつてている。この恩徳に報いることは、『協同組合にとつての報徳とは』、「報徳」という言葉は、「以徳報徳。徳を以て徳に報いる」という論語からきているとされています。直訳すると「善意に対しても善意で報いる」という意味だが、「すべての徳に報いるのに、わが徳をもつてお返しをしなければならぬ」ということを報徳としている。そのため、報徳では推讓することが大切にされている。推讓とは、自らの未来や子供達に今日の成果を残し、また社会や周囲の人々に自らの働きをもつて貢献することである。これは、協同組合で使われている「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉と共通するものがあることに気づかれると思う。これは、協同組合思想と報徳思想は同じ根源を持つているからである。

徳に報いる出発点

翁のことばに、わが教は徳をもつて徳に報いる道だ。天地の徳から、君の徳、親の徳、祖先の徳など、人々はみんな広大な恩徳をこなむつてている。この恩徳に報いる

一報徳-

『協同組合にとつての報徳とは』

「報徳」という言葉は、「以徳報徳。徳を以て徳に報いる」という論語からきていると

孝というように、自分の徳行をもつてする、これを報徳というのだ。

さて、この徳行を立てようとするには、まず自分自身の天禄の分限をはつきり知つて、これを守ることが先決だ。だから私は、入門の始めにその者の分限を取り調べて、よくわきまえさせている。なぜかといえば、大体金持ちの子孫は、自分の家の財産が何ほどあるか、知らぬものが多いからだ。

一 中 略 一

入るを計つて天分を定めて、音信贈答も、義理も礼儀も、みんなこの天分の内でするがよい。分内できなければ、一切やめればよい。あるいはそれをけちだと言う者があつても、それは言う方の誤りなのだから、気にかけるでない。なぜかといえば、この天分の他に取るところもなく、入るものもないからだ。だから義理もつきあはれなきからだ。だから義理もつきあはれなきがよい。

（夜二二八）



講習会の様子



黄色の旗の波で交通安全を呼び掛ける



大学・短大・専門学校生大歓迎

JAグループ職員・社員養成学校

JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●24歳未満
- 大学、短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込)
- 試験日:12月8日(火)・9日(水)
- 願書受付:9月8日~11月10日 ●学校見学できます

男女共学

JA・JA関連会社へ就職

JAカレッジ 案内

お問い合わせ
資料請求先

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎ 0120-918-417

一般財団法人

北海道農業協同組合学校 (JAカレッジ)

朝取り野菜生産者会が講習会開催

6月29日、JAみねのぶ朝取り野菜生産者の会が峰樺3区にある多目的倉庫内で講習会を開催し生産者23人が出席しました。

空知農業改良普及センターの千川普及員を講師に招き、トマト、ピーマン、なす、きゅうり等の果菜類が秋まで継続して出荷するための温度管理や肥培管理、病害虫の防除について講習が行われました。出席した生産者の皆さんには講師の話に熱心に聞き入り、時には予定と述べていました。

担当の販売企画課では今後、根菜類、葉菜類の講習会を開催する予定と述べていました。

「旗の波」で交通安全を呼び掛ける

7月3日の朝8時から、当JA職員14名が「シートベルト着用」「スピードダウン」「安全運転の励行」と記した黄色い旗を振る「旗の波作戦」活動を行い、国道12号を往来する車の運転者に交通安全を呼び掛けました。

これは美唄地区安全運転管理者協会に登録する全事業所が取り組む「セーフティ・チャレンジ2015」活動の一環で、職場内の交通安全意識の醸成と地域社会で車両を使って事業活動をする一員として無事故・無違反を社会に広く訴え掛け「交通事故のない安全で安心な社会の実現」を目指す狙いがあります。

峰延農協年金友の会パークゴルフ大会開催

7月10日、峰延農協年金友の会(会長 井沢弘明)のパークゴルフ大会が三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場(36ホール、全長1774m)で開催されました。

参加者は事前に事務局に参加申し込みを行った33名(男23名、女10名)で、晴天で強烈な暑さの中で行われました。

開会式で吉田副会長は「暑いので熱中症に気を付けて親睦を深めながら日頃の練習の成果を発揮して下さい。」と挨拶を述べました。

参加者は3組に分かれ3つのコースから一斉にスタート、参加者は日頃の練習の成果を発揮しようと真剣にプレーを行い、時々見られる好プレー、珍プレーに歓声や嘆息が起こり和やかに楽しんでいました。

今大会の優勝者は、男性は中越勇さん(中小屋長寿会)、女性は加藤セツ子さん(光珠内老人クラブ)で、それぞれ競技終了後に表彰式が行われました。

小林篤一翁のお墓参り

7月16日、北海道報徳社の一行が三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓参りに訪れ森川組合長が同行しました。

墓参りに訪れたのは、JA北海道信連の佐藤彰副会長（JA北いしかり組合長）、北海道報徳社の柴田常務理事と女性職員の3人で森川組合長と共に墓の周囲を清掃し墓石を洗つた後、花や果物等を供え線香をあげました。

J A常勤理事も同行し一緒に墓参りを行っています。



墓参りを終えて



研修会の様子



挨拶を述べる森川組合長



高橋美唄市長が訪れました

CS（顧客満足）研修会を受講

当JAの販売企画課店舗等の職員が、3月から5月にかけて外部から講師を招き3回シリーズのCS（顧客満足）研修を受講しました。この研修は「組合員の皆さんと地域に信頼され、支持されるお店づくりを目指し店舗・農協組織の責任者として接遇の水準を向上させる。」を目的・行動目標に掲げ、営農資材や食料品等の供給で組合員の皆さまと接する機会が多い店舗の職員を中心に延べ71人が受講。講師はコーポレートCS

推進室の近江和子トレーナーリー グーで、挨拶の訓練の他にCSの意味に気づくための研修を行い、組合員の皆さまに満足していただきために何をやるべきか、組合員の皆さまに何を求められているのかを常に考えて行動していく等、CSの向上に努める職員の育成を図りました。

ビールパーティー盛会裏に終わる

当JAのビールパーティーが7月7日午後4時から当JAビル裏の駐車場等に設けた特設会場で開催されました。

この日は、朝から雨降りで昼近くにはさらに雨足が強くなり、会場を峰樺3区の農産物検査所に変更することが検討されましたが、午後には雨が上がるという天気予報を信頼し、当初の予定通りJAビル裏で開催を決めました。

昼過ぎには予報通りに雨は止み、会場設営を始める頃には薄日が差し始めビールパーティーを始めた頃には雨雲がなくなりました。

ビールパーティーには組合員や地域住民の皆さま約200人が訪れ、1500円飲み放題の生ビールで乾いた喉を潤し、炭焼きジ

ンギスカンや「福よし」焼き鳥、打ち立てのそば等を堪能していました。

美唄市の高橋市長、地元の小関市議会議員、森川市議会議員のほか、ホクレンや信連、共済連等の岩見沢支所の職員の皆さんも訪れ会場の皆さんと交流を深めていました。

森川組合長が挨拶に立ち「日頃のご愛顧に感謝を申し上げます。昨年に引き続き開催するビールパーティーで、雨が心配されましたが、大勢の皆さんにご来場いただきありがとうございます。」と述べました。



大盛況です



お子さまも楽しんでいます



抽選会で豪華商品をゲット

会場はジンギスカン等を焼く煙が立ち込め、時間が経つ程に盛り上がり、飲み放題のビールも引切れ無しに運ばれていました。催しでは、背筋力測定大会に来場の中から10名がエントリー、強者に混じつて2名の女性が参加し会場を沸かせていました。豪華景品が当たる抽選会では伊藤専務理事が引く当たり札にため息が漏れるなど、皆さん楽しいひと時を過ごされていました。



背筋力測定大会に女性も参加

- ①乳熟期防除後5日目のすくい取りで成虫の捕獲がある場合
- ②出穂後の平均気温が25℃以上の場合（カメムシの活性が高まり被害が大きくなりやすい）
- ③穂揃いが悪く、登熟のばらつきが見込まれる場合

今年の生育は平年より若干遅れています。全般に穂揃いの悪い圃場が多く、また7月下旬の悪天候もあり、病害虫の被害が懸念されます。今後は仕上げの時期となりますので、水稻の生育状況に応じた、適期作業を心がけましょう。

1. カメムシ防除は出穂してからが本番

カメムシの被害は、乳熟期前後を中心に行ないます。稻の生育ステージとカメムシの発生量を考慮して防除を計画します。基幹防除（出穂期・乳熟期）の終了後も、次の条件に該当する場合は基幹防除後5～7日目に追加防除が必要です。また近隣に収穫後の麦畑がある場合は、そこからの飛び込みがありますので、予察に注意を払って下さい。

水稲

営農技術情報

④早期異常出穂が発生した場合

2. いもち病の防除

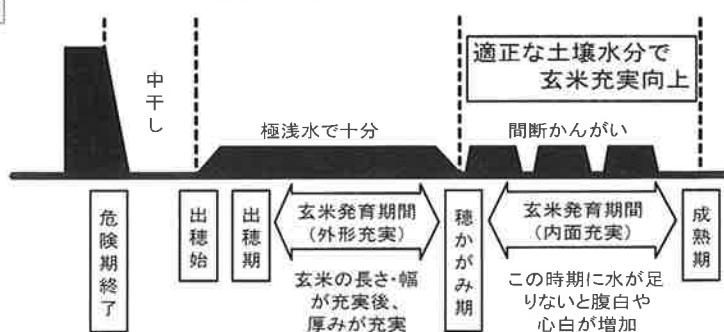
現在、いもち病の発生は確認されておりませんが、引き続き圃場の予察を行い、病斑を発見した場合は速やかに薬剤散布を行いましょう。また、被害の大きい場合は刈り取りを行い、羅病株は圃場外へ搬出します。

3. 土壌水分確保で登熟促進

出穂期以後の水管理は、土壤水分確保が目的です。水深は極浅水で十分です。

烟作

図1 生育と適正な水管理



うちに雑草を処理してしまいましょう。特にスズメノカタビラはほとんどの圃場で見受けられますので、次の方で少しでも発生量を減少させましょう。

う。

剤はバイスロイド、プレバソンが有効です。

②カメムシ

大豆圃場においてもカメムシによる吸害が確認されております。収量に大きな影響を及ぼす被害とはなりませんが、吸害を受けた子実は斑点粒や奇形粒となり、品質の低下を招きます。

防除はマメシンクイガの2、3回目の防除と合わせて行いましょ

麦刈取り→麦稈処理（搬出・鋤込み）鋤込みはチョッパーを掛けローラリー耕↓綠肥播種↓浅くローラリー耕↓土壤が乾燥している場合鎮圧ローラー↓綠肥鋤込み→約10~14日後耕起・整地・播種

う。
防除はマメシンクイガの2、3回目の防除と合わせて行いましょ

2. 大豆の防除

※播種床でスズメノカタビラが根株となつて見える場合はラウンドアップ散布

他にも宿根雑草、レッドトップ、ダイオウ等が優占雑草の場合は、麦刈取り後、雑草が再生したらランドアップ処理を行いましょう。

2. 大豆の防除

① マメシンクイガ

近年、マメシンクイガによる被害粒が多発し、収量・品質に大きな影響を及ぼしています。

卷之三

① マメシンクイガ
近年、マメシンクイガによる被害粒が多発し、収量・品質に大きな影響を及ぼしています。

② 土壌 pH について

（後編第4回）
土壤の地力を維持、向上させる

2 大豆の防除

成虫は7月中旬から発生が確認されておりますので、着莢期前後（圃場の約40～50%の株に2～3cmの莢がついた頃）に1回目の防除を行い、以降7日～10日の間

成虫は7月中旬から発生が確認されおり、着莢期前後（圃場の約40～50%の株に2～3cmの莢がついた頃）に1回目の防除を行い、以降7日～10日の間隔で3回実施します。散布基

表1 大豆マメシンクイガの防除薬剤

回数	薬剤名	使用量 使用倍率	使用回数	備考
1回目	プレバソンプロアブル	4000倍	2回以内	展着剤加用
2回目	バイスロイド乳剤	1000倍	3回以内	カメムシに効果有り
3回目	エルサン乳剤	1000倍	2回以内	カメムシに効果有り
	プレバソンプロアブル	4000倍	2回以内	展着剤加用